

緑のセンターだより

No.213

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行:令和7年4月1日

講習会のご案内

(講習会の受付等につきましては、広報旭川市民「あさひばし」に掲載の記事内容を、ご確認ください)

「ブルーベリーに魅せられて(美味しいブルーベリーの作り方を教えます~苗木は剪定実習後、持ち帰り)

とき 令和7年4月19日(土) 午後1時30分~3時30分

定員20名 参加費 2,000円

とき 令和7年4月20日(日) 午後1時30分~3時30分

定員20名 参加費 2,000円

講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、3月20日(木) 午前9時~

「神楽岡公園 春の自然観察会」~春の野草を探そう~

とき 令和7年5月3日(土) 午後1時30分~3時30分

定員15名 参加費 無料

講師 植物研究家 塩田 惇さん

※講座の受付は、4月20日(日) 午前9時~

「今年、気になる病害虫と防除(野菜、果樹、花き、他)」

とき 令和7年5月10日(土) 午後1時30分~3時30分

定員20名 参加費 無料

講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、4月20日(日) 午前9時~

「ミニ盆栽講座(入門編)」

とき 令和7年5月17日(土) 午後1時30分~3時30分

定員10名 参加費 2,000円

講師 石花染粋庵 森谷 隆一さん

※講座の受付は、4月20日(日) 午前9時~

連続講座

「初・中級者のための野菜づくり講座(全2回)」

とき 令和7年4月26日(土)、5月31日(土)

午後1時30分~3時30分 定員20名 参加費 500円

講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、4月20日(日) 午前9時~

「四季成り風イチゴ栽培講習(全2回)」

とき 令和7年5月18日(日)、8月24日(日)

午後1時30分~3時30分 定員10名 参加費 1,000円

講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、4月20日(日) 午前9時~

「コチョウランの花を来年も咲かすための講座(全3回)」

とき 令和7年5月24日(土)、7月5日(土)、9月6日(土)

午後1時30分~3時30分 定員14名 参加費 1,000円

講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、4月20日(日) 午前9時~

「低花木類を上手に育てる講座」

とき 令和7年6月8日(日)、7月6日(日)

午後1時30分~3時30分 定員20名 参加費 2,500円

講師 緑のセンター相談員

※講座の受付は、5月20日(火) 午前9時~

展示会のご案内

「野の花写真展」

日時 令和7年4月15日(火)~4月30日(木)

作品提供 神田 亘雄さん

🌸 常磐公園花壇ボランティア募集のお知らせ 🌸
活動期間:令和7年5月中旬から10月上旬(月1~2回、主に火・金) 午前10時から約1時間半程度の軽作業。第1回目は5月9日(金)
参加料:無料(当協会負担でボランティア保険に加入します)
申込・お問合せ:公益財団法人 旭川市公園緑地協会
☎(0166)52-1934

【休館日のお知らせ】

4月~10月は、第2・4月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

〈我が家の庭づくり〉 宿根草の種まき

《雪が解け日差しが強まり、植物の生育が始まるこれからの時期が宿根草の種まきの適期！
皆さんも挑戦してみましょ！》

種まきの注意点

- ① 発芽温度に気をつける(宿根草は20℃より低い温度で発芽する物が多い)
 - ・一定期間の低温に遭わないと発芽しないもの～播種後越冬させることで翌春一斉に発芽する(クリスマスローズ・エレムルス・コマクサ)
 - ・発芽温度の低いもの～20℃を超えると発芽しない物は4月がチャンス！
(デルフィニウム・トロリウス・メコノプシス・スイートピー・ラクスパー)
- ② 探つてすぐ播かないと発芽しないもの(セイヨウオダマキ・ウツボグサ)
- ③ 種に傷を付けてから播くもの(ルピナス・クリスマスローズ)
- ④ 好光性のもの(種子の発芽に光を必要とするもの～明発芽種子)
(シレネ・西洋アマ・ジギタリス・アキレイギア・サルビア・カンパニュラ)
- ⑤ 嫌光性のもの(種子に光が当たると発芽しないもの～暗発芽種子)
(ビオラ・デルフィニウム・ルピナス・ラベンダー・バーベナ・ワスレナグサ)
- ⑥ 播種培養土は清潔で通気・排水・保水性のバランスが取れたものが良い
(例:セル培土・スーパーセルトップV・プライムミックス・火山礫など)

注:宿根草の種子は入手が難しく、自家採種をする場合が多いため発芽条件等の情報がないことから、色々な条件下で試す必要があります。我が家では右写真の様に覆土(種の上にかける土)あり・なしで好光性・嫌光性の比較試験をしています。



各種宿根草の播種



種まき用培養土



覆土あり

覆土なし

ブドウの葉に穴が空く ツマグロアオカスミカメ

1 ツマグロアオカスミカメの被害

- ① 5月上旬、長さ1mm程度のバナナ状の卵が発芽間もない芽の綿毛の中に見られます。
- ② 葉が開く直前に口に針を持った体長1mm程度の若い幼虫が吸汁加害を始めます。
- ③ 幼虫は成虫になる6月中旬頃まで、新しく伸び出た枝の柔らかい葉や若い花などを吸汁加害し続けます。
- ④ 被害部分は葉では生育に伴って大小の穴が開き、若い花穂では花のつぼみが消滅します。

2 一般的な防除方法

- ① ツマグロアオカスミカメの越冬形態は未確認ですが、前年に被害症状がみられた園地ではブドウの葉が開く直前に薬剤散布を必ず実施します。
- ② 若い幼虫の吸汁加害が始まる「葉が開く直前」に1回散布します。
薬剤名「成分名:クロチアニジン水溶剤」(製品名:ダントツ水溶剤
あるいはベニカ水溶剤)を2,000～4,000倍で散布します。
製品名:ダントツ水溶剤及びベニカ水溶剤は収穫前日までに、
3回まで使うことができます。



椿（つばき）



樹木には太陽の光が必要不可欠な「陽樹」と、比較的太陽光が少ない場所でも生育していける「陰樹」があります。

日本の代表的な低花木「椿」は陰樹ですが、日陰でも育ち、背がそこまで高くないことから府県では庭木や鉢植えで楽しまれてきました。旭川市内でも正月には必ず園芸店に鉢植えが並びますが、来年も自宅で花を咲かせたい場合には、旭川の気象条件を考慮して、下表のような気遣いが必要です。

鉢植え椿の栽培管理

- 園芸店に並ぶ鉢植えの大半は本州から持ち込まれたものなので、旭川で来年も花を咲かせるためには生育を一旦リセットする意味で4月上旬には室内で植え替え・整枝・せん定して再スタートさせ、霜の心配がなくなる5月中旬から10月中旬まで屋外の半日陰で管理して、花芽分化（7～8月中旬の長日条件）を促します。
- 植え替え用土は、ミジンを抜いた小粒の赤玉土5、火山レキ3、腐葉土2の割合で混合したものが良く、植え替え後は十分に水を与え、1か月ほど室内で養生してから戸外に出します。肥料はその後から与えます。
- せん定は、自然樹形が美しいので基本的にあまり必要ありませんが、樹高を大きくしたくない場合は、花が終わった後に行います。また、全ての枝先を切ると花芽が着きずらくなるので ①ふところ枝、②交差枝、③徒長枝を中心に行います。
- 水やりは、乾燥を嫌うので枝伸長期には十分与え、伸長が止まつてからは表土が乾いてから、鉢底から流れ出るだけ給水します。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
生育状況	開花期		成長期			花芽分化期		充実期		休眠期		
置き場所	室内(花後～低温安定の場所に)					戸外(日光に十分当てる)				室内(低温管理)		
水やり	用土が乾いたら			毎日たっぷり				用土が乾いたら				
施肥	置き肥月1回、液肥月3回					リン酸、カリ分の多い液肥						
	与えない		薄い液肥			入室後与えない						
作業	植え替え、整枝、せん定											

ソフロリア サンタバーバラサンセット ‘ショータイム’

品種名: Lc .Santa Barbara Sunset ‘Show Time’ ラン科 レリオカトレヤ属

個体名は「ショータイム」。いかにも洒落た名前が付いたカトレアの交配種です。米国と日本で受賞歴のある優秀花で、開花期は冬から春。芳香はありません。カトレアは花茎が比較的短いので切り花としては馴染みが薄いと言われますが、この品種はブンブン花茎を伸ばして1m以上にもなるので一般家庭では手に余すかもしれません。咲き始めはピンク系の花色ですが、日を追うごとに夕焼け色に染まり、緑のセンター温室の中でも、まさにショータイムを演ずる花です。



園芸用語の解説

園芸でよく使われる専門用語や名称などについて、初心者の方々にもわかりやすく解説します。表記は順不同です。

【グランドカバープランツ】

地面を覆う植物の総称で、「地被植物」とも呼ばれます。茎や枝を横に伸ばして地面や壁面などを覆うように育つ植物のことです。シバ、アジュガ、シバザクラ、スイートアリッサム、バーベナ、コバノランタナ、ツタ、アイビーなどがあるほか、花の咲く緑化植物も利用されています。

グラウンドカバープランツの一例



グレコマ

ツルニチニチソウ

リシマキア

【樹勢】じゅせい

文字どおり木の勢いのことをいいます。一般的に、木が勢いよく育っていることを「樹勢がよい」と表現します。

【斑入り】ふいり

斑とは葉や花弁、茎、幹に出る本来の色と異なる色のことです。植物に斑が出ている状態を「斑入り」といいます。ことに葉の斑入りは、日本で多くの品種が生まれています。



【発芽】はつが

休眠状態にあった芽（生長点）が発育を始めることをいいます。種子ばかりでなく、孢子、花粉、球根、球茎、塊茎や塊根の芽、越冬芽、脇芽などが発育をはじめめることはすべて発芽といえます。

【出芽】しゅつが

生物全体に使われる用語ですが、植物においては芽を出すことをいいます。一般的に土壌中で種子が発芽し、地表面に幼芽あるいは本葉が出てきたことをいいます。

【萌芽】ほうが

草木が芽を吹くこと。草木が芽生えることをいいますが、球根やイモ類などの新芽が生長して地表面から出ることをいいます。

【休眠打破】きゅうみんだは

植物が不利な環境条件に耐えるために一時的に成長を停止していた状態（休眠）から、再び成長を再開する現象をさします。休眠打破は、気温の上昇、日照時間の増加、適切な水分供給などいろいろな環境要因によって引き起こされます。

【短日処理】たんじつしより

朝夕に覆いをするなどして、光を受ける時間が短くなるように処理すること。1日のうち、光を受ける時間が短くなると花をつける性質の植物で行います。キクやポインセチアなどで行います。



短日処理後のポインセチア

【長日処理】ちょうじつしより

植物のなかには、昼間の長さがある一定の長さより長くなると、花芽をつける植物（カーネーション、アスターなど）があります。この性質を利用して日照時間を調節し、花が咲く時期を早めることを長日処理といえます。

【ビニールハウス】

ビニールシートで覆った保温施設。冬の寒い時期は暖房を入れて加温することもあります。主として野菜や鉢花などの促成栽培や抑制栽培に利用されます。

【酸度】さんど

土が酸性であるか、アルカリ性であるかということ。植物の種類によって、ある程度の酸性を帯びていたほうがよいか、アルカリ性を帯びていたほうがよいか、その程度は異なります。土の酸度は植物の成長を大きく左右します。

【人工受粉】じんこうじゅふん

自然の受粉が難しい場合、人為的に雌しべに花粉をつけて、受精させること。スイカやメロンなどのように雄花と雌花が別々の株だったり、花粉が少ない植物などに行われます。



かぼちゃの人工受粉

(参考・引用文献：NHK趣味の園芸 園芸入門ほか)